

## 効果

## 課題

【取引の都度、仕訳等を実施することによって生じる効果・課題】

### 迅速な財務書類作成の実現

- ・ 出納閉鎖後の財務書類作成期間を短縮
- ・ 分析結果をタイムリーに予算編成等に反映可能

### システム整備の経費負担

- ・ 取引の都度、円滑に仕訳を実施するには、システム整備が必須であり、一定程度の経費負担が発生

【各部署で仕訳等を実施することによって生じる効果・課題】

### 全庁的な意識啓発

- ・ 日々の業務に対する職員のコスト意識を醸成
- ・ 各部署の財務書類活用に対する意識向上  
(「与えられるもの」から「自ら作り、使うもの」へステップアップ)

### 理解不足から生じる導入への拒否反応

- ・ 多くの職員の理解が必要であり、徹底した周知・啓発が必要

【取引の都度、各部署で仕訳等を実施することによって生じる効果・課題】

### 財務書類の正確性向上

- ・ 取引発生の都度、各部署で仕訳等を行うことにより精度向上
- ・ 財務書類の内容に対する各部署の責任の明確化

### 業務の平準化

- ・ 特定の部署や時期に偏らない作業が可能

### 各部署の作業負担

- ・ 各部署の日常業務の中で仕訳等の新たな事務負担が発生

さまざまな効果が期待される一方で、課題も存在することから、各団体の状況に応じて、費用効果を見極めながら導入検討を進めることが必要